

知ってる?

あいちのうみのコト

カッパの清吉と学ぶ
「海ごみ」問題



はじめまして!
ぼく、カッパの清吉。
せい きじ
愛知県に住んでいる、
川のようかいだよ。
ぼくといっしょに、
あいちの海のこと
勉強しよう!



豊かなあいちの海

愛知県にはきれいで豊かな海があり、多くの生きものがくらしています。

わたしたち人間も、魚や貝を取ったり、海水浴をしたり、美しい景色を楽しんだりと、あいちの海からたくさんの恵みを受けて生活しています。

わたしたちは、海岸の自然環境を守り、次の世代も同じように海からの恵みを受けられるようにしなければなりません。



いらごみさきたはらし
伊良湖岬(田原市)

もろざきこうみなみちたちょう
師崎港(南知多町)

あいちの海の生きものや海産物

あいちの海の恵み

アサリ日本一!

愛知県は、2004年から最新の2019年まで、16年連続でアサリの漁獲量全国1位となっています。田原市、西尾市が主な産地です。

アサリ
ノリ
クルマエビ
ガザミ
アカウミガメ

あいちの海にはごみもいっぱい…?!

実はこれもあいちの海。愛知県内のいくつかの海岸ではこのように「海ごみ」がたくさん流れ着き、問題となっています。



(西ノ浜(田原市)2018年10月)



(河和海岸(美浜町)2021年10月)



(佐久島(西尾市)2018年10月)



きもん

1

あいの海ごみにはどんなものがあるの？



見たことがあるもの、
普段よく使うものは
あるかな？

わたしたちの身の回りにあるものが、海ごみとなって流れ着いています。



流木



プラスチックの部品やかけら



苗ポットややぶれたフィルム



お菓子のごみ、ストロー、マスク



ボロボロになった発泡スチロール

ごみの量(個数)と種類の調査

愛知県では、海岸のごみの量や種類を調査しています。その結果を見てみましょう。

場所: 小鈴谷海岸(常滑市)

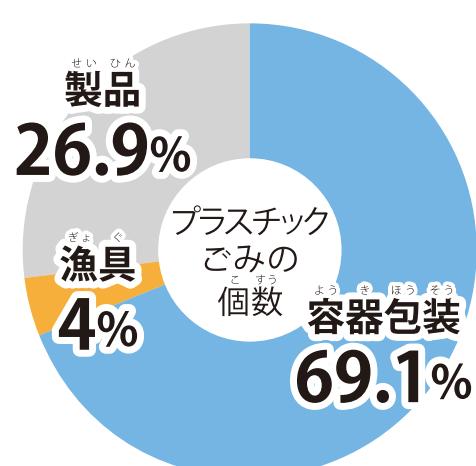
調査日: 2020年12月14日

方法: 決められた範囲内にある長さ2.5cm以上
のごみをすべて回収する。

この調査では、こんなことがわかったよ！

- 個数では、プラスチックごみが最も多かった
- プラスチックごみの中では、ペットボトルやプラスチックトレイなどの容器包装が最も多かった

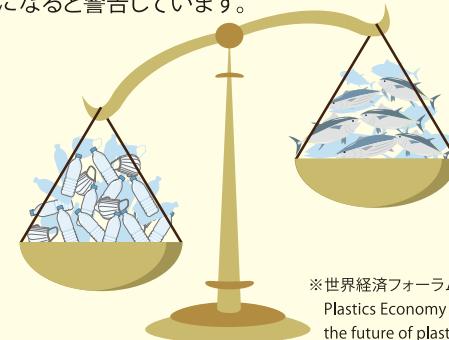
注意 どこの海岸で、どの時期に調査するかに
よって、ごみの量や種類は大きく異なります。



魚よりもごみが多くなる？！

報告書※によると、海の中にはすでに1億5,000万トン以上のプラスチックごみがあり、さらに1分にごみ収集車1台分のペースでごみの量が増え続けているそうです。

また、このまま何の対策も取らなければ、2050年までには海のプラスチックごみの量(重量)が魚を上回る計算になると警告しています。



※世界経済フォーラム「The New Plastics Economy Rethinking the future of plastics」(2016)

ぎもん

2

海ごみがあると、どんなこまったことがあるの？



いろいろなところでこまったことが起きています。

景観・観光への影響

- 景色が悪くなる、イメージダウン
- 遊びに来る人のがけをする
- 清掃をするのに、お金や人手がかかるなど



漁業への影響

- 漁網に引っかかる
- のりの養殖への被害
- 船の進行のジャマになるなど



生きものへの影響

- ごみが巻き付いて動けなくなってしまう
- 魚やカメが食べ物とまちがえてしまう
- ウミガメの産卵のジャマになるなど



マイクロプラスチック

ごみとして海に流れ出たプラスチックが細かく碎けたものや、化粧品や歯磨き粉などに含まれる小さなプラスチックの粒（マイクロビーズ）など、海の中をただよう直径 5ミリ以下の小さなプラスチックを「マイクロプラスチック」と呼びます。

これらには、海の中の有害物質（自然環境や人間の体に害を与えるもの）がくっついてしまっている場合があります。

マイクロプラスチックのような小さなプラスチックは、魚や貝などがエサとまちがえて飲み込んでしまうことがあります。小さな魚が体内に取り込み、その小さな魚を食べる大きな魚が体内に取り込み、魚の体内にマイクロプラスチックが蓄積される可能性があります。

実際に、東京湾のカタクチイワシの約 8割から、マイクロプラスチックが発見されたという調査もあります。

砂や小石に、緑、ピンクなどカラフルな人工物が混じっている。細かいため手で拾うことは難しい。（西ノ浜（田原市）、2018年10月）



きもん
3

海ごみはどこから来るの？

川の流れに運ばれて海に着くごみも多くあります。

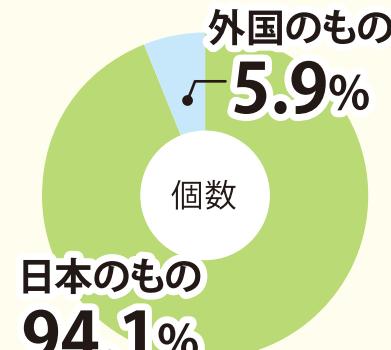
愛知県の海は、半島に囲まれ、太平洋からのごみが入りにくくなっています。そのため、愛知県の海岸に流れ着く海ごみには、内陸部で出たと思われるものも多くあります。ポイ捨てされたごみや、外に置いていた日用品などが風や雨で川に入り、川の流れに乗って海へ出て、海岸に漂着するのです。



ペットボトルはどこから？

海岸の決められた範囲内にあるペットボトル等を回収し、国内のものか外国のものかを調べました。

伊勢湾に面する小鈴谷海岸（常滑市）では、119個のペットボトル等のうち、9割以上が国内で作られたものでした。



遠州灘に面する西七根海岸（豊橋市）では、11個のペットボトル等のうち、7個が外国で作られたものでした。

漂着ごみ組成調査(愛知県)
2021年1月20日調査

きもん
4

わたしたちにできることは何だろう?

わたしたちが気をつければ、海ごみは確実にへらせます!

日々の行動を見直し、ごみの量をへらすことで、海岸を守り、海で仕事をする人たちの生活を支え、生きものたちの命を守りましょう。それがわたしたちの生活を守ることにつながります。



海ごみをへらすためにできること

海ごみについて調べる

- 海ごみについて関心を持ち、調べたり考えたりする
- 本やウェブサイトで学ぶ
- 海ごみ問題を学ぶことのできるイベントに参加する



ごみをへらす工夫をする

- エコバッグを使う、詰め替え商品を買う
- 余分なものは買わない、もらわない



外出先で出たごみは持ち帰る

- 海水浴、ピクニックなどで出たごみは必ず持ち帰る



海に出かけてみる

- 海にどんな生きものがいて、どんなごみがあるのか確かめる



＼知ることで意識が変わります！／

クリーンアップ活動に参加する

- 海ごみについて関心を持ち、調べたり、クリーンアップ活動を探して参加する

＼川や街の清掃も海ごみをへらすことにつながります／



もっと知りたい人は、
愛知県の環境学習サイト
「あいちのうみのコト」に
遊びに来てね！



愛知県海岸漂着物環境学習サイト
あいちのうみのコト
<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/>

あいちのうみのコト



海をまもるための取組

愛知県では、市町村などとも協力し、海ごみの回収や、海ごみを発生させないようにする取組を行っています。



海ごみの回収

- 「海岸漂着物対策推進地域計画」を策定し、県内の海岸のうち特に力を入れて対策を進める区域を決めました。
- これらの地域では、海岸の管理者や市町村、住民がそれぞれ役割を分担し、
海ごみ問題への対策に取り組んでいます。

愛知県海岸漂着物対策推進協議会 <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/junkan/0000048747.html>



海ごみ問題の普及啓発

- 県民のみなさんに海ごみ問題を伝え関心を持っていただくために、パンフレットや啓発動画、ウェブサイトを作成しています。
- 学校で海ごみ問題を学ぶモデル授業を行ったり、環境イベント等でブース出展を行ったりしています。

啓発動画「カッパの清吉と海のようかい」
<https://www.youtube.com/watch?v=l7n0EbP6L2o>



「知ってる?あいちのうみのコト」(16分バージョン)
<https://www.youtube.com/watch?v=0UW7P9mybvc>



モデル授業



ブース出展

SDGs(持続可能な開発目標)と 海ごみ問題

海ごみは、世界の国々が協力して取り組まなくてはならない問題です。2030年までの世界共通の目標、SDGsにも関連する項目が盛り込まれています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは、より良い世界をつくるための2030年までの世界共通の目標です。2015年の国連サミットで定めされました。17の目標(ゴール)と、それを達成するための169のターゲット(より具体的な目標)があります。

海ごみ問題に関するSDGsの目標

- 12 つくる責任 使う責任
(海ごみ問題に関するターゲット)
- ・大気、水、土壤へ化学物質やごみが出されることを大きく減らす。
 - ・ごみの発生する量を大きく減らす。
- 14 海の豊かさを守ろう
(海ごみ問題に関するターゲット)
- ・あらゆる海の汚染をふせぎ、大きく減らす。

捨てない・減らそう・変(替)えよう! アクションプラごみゼロ

愛知県知事を会長とする「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」は、2020年1月に「[あいちプラスチックごみゼロ宣言](#)」を発表しました。

愛知の環境を守り、豊かな海を未来の子どもたちに引き継ぐため、消費者、事業者、行政が一体となって、海洋プラスチックごみの排出をなくすことを目指します。

プラスチックごみゼロへの取組事項

●捨てない! ●減らそう! ●変(替)えよう!

消費者

- ごみは持ち帰り、自治体の回収ルールに従い処分する
- 散乱しないよう、ごみ出しを工夫する
- マイバッグや容器を持参し、レジ袋などを使用しない
- ●使い捨て(ワンウェイ)でない、繰り返し使える製品(マイボトルなど)を 사용する
- ●詰替え製品やプラ代替製品を選択して購入する
- ●プラごみ削減に取り組んでいる店舗や事業者を利用する
など

事業者

- ●詰替え製品やプラ代替製品を開発・提供する
- ●包装等資材(容器、ストロー)の代替や量り売りなど、食品販売時のプラ製品使用を削減する
- ●簡易包装や紙袋の使用など、物販時のプラ製品使用を削減する
- マイバッグや持参容器の使用を優遇するなど、消費者の取組を支援する
- 風や劣化により散乱しないよう、使用済み等のプラ製品を屋外に放置しない
- ● 製品への表示や店舗での案内、回収ボックスの設置など、消費者における適正処分を促進する
など

共通の取組

● ● ● 3Rプラス1(リデュース、リユース、リサイクル + リフューズ)を徹底する

● ● ● ごみ拾いなど環境活動の実施、参加や呼びかけを行う

行政

- ● ● 県内、世界のプラごみの実態や課題をわかりやすく発信する
- ● 各種行事や施設において、プラごみゼロに向けた取組を率先して実践する
- ● ● プラごみゼロに向けて有効な取組事例などを発信し、広く普及する
- ● ● プラ代替製品等の開発・利用など、事業者が行う取組を奨励・支援する
- ● ごみの分別回収から有効活用まで、プラごみゼロに向けた体制を充実する
- ● ● ごみゼロ社会推進あいち県民会議を始め消費者、事業者との協働を拡充する など

● ● ● プラごみ問題や必要な行動について調べる、考える、伝える



あいちプラスチックごみゼロ宣言

<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/sigen-ka/ippai/gomizero/data/sengen.pdf>



2022年3月発行：愛知県環境局資源循環推進課